

2020 年度 前期

留学生教育・支援センター

【中級Ⅱ】 シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級Ⅱ 会話	水 4	古本	… 1
中級Ⅱ 作文	木 2	小谷	… 2
中級Ⅱ 読解	水 1・木 4	松本	… 3
中級Ⅱ 聴解	金 1	松尾	… 4
中級Ⅱ 漢字	金 2	川崎	… 5
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムの各クラスのレベルについて			… 6

2020年度 前期	曜日・校時	水曜日 4校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本 裕美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	(1) 日常生活に関連する話題および身近で個人的に関心がある事について、楽に自信をもって、積極的かつ詳細に話すことができる。(2) いろいろなどころから集めた情報や議論をまとめ、報告することができる。(3) 日本人に対し、インタビューをスムーズかつ丁寧に行うことができる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
前半は、シャドーイング練習と会話練習を繰り返します。後半は、日本人の考えや長崎大学事情を知るために日本語でインタビュー調査を行い、その結果を発表します。				
第1週	4/8	オリエンテーション、口頭試験 (1)		
第2週	4/15	きっかけについて分かりやすく説明する		
第3週	4/22	人の外見や物について詳しく描写する		
第4週	5/13	ハプニングについて詳しく説明する (1)		
第5週	5/20	ハプニングについて詳しく説明する (2) , シャドーイングテスト (1)		
第6週	5/27	「雑談：カジュアルに話す (1)」		
第7週	6/3	「雑談：カジュアルに話す (2)」		
第8週	6/10	「雑談：聞き上手になる」		
第9週	6/17	「雑談：1つの話題を掘り下げて話す」, シャドーイングテスト (2)		
第10週	6/24	インタビュー調査・発表	1. 計画	
第11週	7/1		2. インタビューでの日本語練習, インタビュー実施	
第12週	7/8		3. 結果のまとめ	
第13週	7/15		4. プレゼンテーションでの日本語練習, シャドーイングテスト (3)	
第14週	7/22		5. プレゼンテーション準備	
第15週	7/29		6. プレゼンテーション	
第16週	TBA	口頭試験 (2)		
教科書・教材等	参考『新版 ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語会話』(凡人社)『日本語教師のための日常会話力がグーンとアップする雑談指導のススメ』(凡人社)			
成績評価の方法・基準等	(1) 宿題：35% (2) インタビュー調査・発表：35% (3) シャドーイング：15% (4) 口頭試験：10% (6) 授業への参加度：5% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2020年度 前期	曜日・校時	木曜日 2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	小谷 裕子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	書き言葉を用いて正確な文章が書けるようになる。構成を考えて、論理的な文章が書けるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

第Ⅰ部では、論理的な文章を書くために文体・文法や引用などの基本的な知識を学びます。第Ⅱ部では、論理の組み立て方や文章の構造・表現等を学びます。

第1週	4/9	オリエンテーション / 第Ⅰ部 第4課 句読点以外の記号の使い方、原稿用紙の使い方
第2週	4/16	第Ⅰ部 第1課 レポートに使われる文体
第3週	4/23	第Ⅰ部 第2課 文の基本1
第4週	4/30	第Ⅰ部 第2課 文の基本2・3
第5週	5/7	第Ⅰ部 第2課 文の基本4 / 第3課 句読点の使い方
第6週	5/14	第Ⅰ部 第5課 引用文 (cf. 第Ⅱ部 第10課) / 第Ⅰ部のまとめ
第7週	5/21	第Ⅰ部 試験 (中間試験)
第8週	5/28	第Ⅱ部 第1課 段落
第9週	6/4	第Ⅱ部 第2課 仕組みの説明
第10週	6/11	第Ⅱ部 第4課 分類
第11週	6/18	第Ⅱ部 第5課 定義
第12週	6/25	第Ⅱ部 第6課 比較・対照
第13週	7/2	第Ⅱ部 第7課 因果関係
第14週	7/9	第Ⅱ部 第8課 意見と根拠
第15週	7/16	第Ⅱ部 第9課 資料の利用
第16週	7/30	第Ⅱ部 試験 (期末試験)

教科書・教材等	「新訂版 留学生のための論理的な文章の書き方」スリーエーネットワーク
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 10%、 授業への取り組み 10%、 課題 20% 中間試験 30%、 期末試験 30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）により試験が受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により試験が受けられない場合は後日試験を実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。

2020年度 前期	曜日・校時	水曜日 1校時 木曜日 4校時	コマ数	2コマ
授業科目	中級II読解			
担当教員名	松本 久美子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	日本社会について書かれた様々な文章を読み、中級後期レベルの読解力をつけるとともに、日本社会に関する知識を得る。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

基本的に予習を前提に教科書に沿って授業を進めます。必ず予習して授業に来てください。また課毎に読解と文法の宿題があります。

第1週	4月8日	オリエンテーション	4月9日	第1課 病院の色
第2週	4月15日	第1課 病院の色	4月16日	JLPT:N2 (読解問題)
第3週	4月22日	第2課 エープリル・フール	4月23日	第2課 エープリル・フール
第4週	4月29日	祝祭日	4月30日	応用読解
第5週	5月6日	祝祭日	5月7日	JLPT:N2 (読解問題)
第6週	5月13日	第3課 学校の制服	5月14日	第3課 学校の制服
第7週	5月20日	第4課 計算の方法を説明する	5月21日	第4課 計算の方法を説明する
第8週	5月27日	第5課 子供の遊び	5月28日	第5課 子供の遊び
第9週	6月3日	第6課 古くなったお札の行方	6月4日	第6課 古くなったお札の行方
第10週	6月10日	テスト①:1課～5課	6月11日	JLPT:N2 (読解問題)
第11週	6月17日	第7課 水への関心	6月18日	第7課 水への関心
第12週	6月24日	第8課 南米の先住民は全員O型?	6月25日	第8課 南米の先住民は全員O型?
第13週	7月1日	第9課 座談会「漫画について」	7月2日	第9課 座談会「漫画について」
第14週	7月8日	第10課 ヒトのことばと鳥の歌	7月9日	JLPT:N2 (読解問題)
第15週	7月15日	第10課 ヒトのことばと鳥の歌	7月16日	応用読解
第16週	7月22日	JLPT:N2 (読解問題)	7月23日	祝祭日
第17週	7月29日	テスト②:6課～10課		

教科書・教材等	『中級を学ぼう：日本語の文型と表現 82、中級中期』スリーエーネットワーク
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 10%、宿題 10%、テスト 80% (テスト① 40%・テスト②40%) 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	準備学習等：予習 1.5h、宿題 1.5h 私的な理由 (ex. 旅行、家族訪問 etc.) によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由 (ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習, 研究発表 etc.) により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2020年度 前期	曜日・校時	金曜日 1校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解			
担当教員名	松尾 まゆ美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	ある程度まとまったの音声から必要情報を的確に拾うことができる。聞き取った内容を正確に理解し、自分の言葉で再表現できる。また、表記することができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

様々な分野のニュース等を扱い、焦点を絞って聞く練習と、正確に聞き取る練習を行います。

第1週	4/10	オリエンテーション / plus 40 ⑩ (21) 回転寿司
第2週	4/17	(23) 名前の無い手紙 第
第3週	4/24	(24) あなたの成績は朝ごはん次第 /
第4週	5/1	(26) いちばん上の子は神経質？
第5週	5/8	(27) 結婚するなら年上？年下？
第6週	5/15	(28) 太鼓の響き
第7週	5/22	(29) 睡眠不足じゃありませんか
第8週	5/29	中間試験
第9週	6/5	(30) お菓子のおまけ
第10週	6/12	(31) 進化するロボット
第11週	6/19	(33) 日本を知らない日本人
第12週	6/26	(35) 若い登山家
第13週	7/3	(38) 屋上の緑化
第14週	7/10	(36) 変化する就職事情
第15週	7/17	(39) 英語力や資格は必要ですか
第16週	7/31	期末試験

教科書・教材等	「毎日の聞き取り plus 40 ⑩」凡人社 (主教材) 「毎日の聞き取り 50日⑩」凡人社
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 20%、態度 10%、小テスト 20% 中間試験 20%、期末試験 30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 <u>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (準備学習等)	・予習：あらかじめ語彙を調べてから、授業に参加する。(1h) ・復習：授業で習った語彙の復習。次回の授業時に復習の小テストを毎回行う。(1h) ・私的な理由 (ex. 旅行, 家族訪問 etc.) によりテストが受けられない場合は追試を認めない。 やむを得ない理由 (ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習, 研究発表 etc.) により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。

2020年度 前期	曜日・校時	金曜日 2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ漢字			
担当教員名	川崎 加奈子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	今まで勉強した漢字を復習・整理しながら、新しい漢字の読みや意味を理解し、場面や文脈に合った漢字語彙が使えるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

各課18～19字の新しい漢字を学びます。翌週、小テストがあります。

その課で学んだ漢字を使ったグループワークを行い、漢字語彙の使い方を学びます。

毎回宿題があります。かならず宿題をしてから、授業に参加してください。

第1週	4月8日	オリエンテーション
第2週	4月17日	1課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第3週	4月24日	2課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第4週	5月1日	3課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第5週	5月8日	4課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第6週	5月15日	テスト① 1課～4課
第7週	5月22日	5課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第8週	5月29日	6課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第9週	6月5日	7課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第10週	6月12日	8課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第11週	6月19日	テスト② 5課～8課
第12週	6月26日	9課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第13週	7月3日	10課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第14週	7月10日	11課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第15週	7月17日	12課小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第16週	7月31日	テスト③ 9課～12課

教科書・教材等	『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙超級編』藤田佐和子著ココ出版
成績評価の方法・基準等	小テスト20%、テスト① 20%、テスト② 20%、テスト③ 20%、宿題 20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc., 専門関係：乗船実習、研究発表etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) のレベル
初級Ⅰ	初級前半	<p>初歩的な文法・漢字(100字程度)、語彙(800語程度)を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を150時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。 	N5	A1 A2-1
初級Ⅱ	初級後半	<p>基本的な文法・漢字(300字程度)・語彙(1,500語程度)を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を300時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常的事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。 	N4	A2-2
中級Ⅰ	中級前半	<p>基本文法の応用ができ、漢字(700字程度)・語彙(3,500語程度)を習得し、一般的なことから、日常的な話題について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を400時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べるができる。 	N3	B1
中級Ⅱ	中級後半	<p>やや高度な文法・漢字(1000字程度)・語彙(6,000語程度)を習得し、少し高度な一般的なことから、日常的な話題について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を600時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。 	N2	B2
上級Ⅰ	上級前半	<p>高度な文法・漢字(1,500字程度)・語彙(8,000語程度)を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を800時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。 		
上級Ⅱ	上級後半	<p>高度な文法・漢字(2,000字程度)語彙(10,000語以上)を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を1000時間以上学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。 	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ (5単位, 週5コマ)	中級Ⅰ読解 (2単位, 週2コマ)	上級Ⅰ読解 (2単位, 週2コマ)
初級Ⅱ (5単位, 週5コマ)	中級Ⅰ聴解 (1単位, 週1コマ)	上級Ⅰ総合 (2単位, 週2コマ)
	中級Ⅰ会話 (1単位, 週1コマ)	上級Ⅱ総合A (2単位, 週2コマ)
	中級Ⅰ作文 (1単位, 週1コマ)	上級Ⅱ総合B (2単位, 週2コマ)
	中級Ⅰ漢字 (1単位, 週1コマ)	上級Ⅱ総合C (2単位, 週2コマ)
	中級Ⅱ読解 (2単位, 週2コマ)	上級Ⅱ総合D (2単位, 週2コマ)
	中級Ⅱ聴解 (1単位, 週1コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座 (1単位, 週1コマ)
	中級Ⅱ会話 (1単位, 週1コマ)	
	中級Ⅱ作文 (1単位, 週1コマ)	
	中級Ⅱ漢字 (1単位, 週1コマ)	
	中級総合A (1単位, 週1コマ)	
	中級総合B (1単位, 週1コマ)	

*週1コマとは、1週間に90分の授業を1回行うことを指します。

(本ページのみ：2015/07/30作成，2018/01/26更新)